

## 平成29年度「後期学校アンケート」の結果報告

12月に行いました『よりよい学校をつくるために～みなみアンケート～』調査の結果をお知らせいたします。  
学校評価の取組は、「子どもの豊かな学びと育ちを実現するために、学校と家庭・地域が双方向の信頼関係のもとに情報や課題意識を共有し、改善する」ことを目指しています。今回も「児童」「保護者」「教職員」がそれぞれのことを振り返る自己評価という形で行いました。その結果をもとに現状を把握し、今後の学校の取組に活かしていく視点で分析・考察をしました。今回の結果を踏まえて次年度の取組に活かしていきたいと思っております。アンケートにご協力いただきありがとうございました。

## 「みなみアンケート」について 《保護者の回答率約95%》

【アンケート結果】 A:そう思う B:だいたいそう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない (%)

	児童	保護者	教職員
確かな学力	学校の授業は、よく分かる。 A : 59.0 B : 36.8 C : 3.4 D : 0.8	子どもは、学校の学習がよく分かっている。 A : 26.9 B : 62.8 C : 9.8 D : 0.5	児童がよく分かるように、めあての提示とまとめ・振り返りを行っている。 A : 20.0 B : 80.0 C : 0 D : 0
	自分のめあてをもってがんばろうとしている。 A : 44.8 B : 43.6 C : 10.3 D : 1.3	子どもが、自分の目当てをもてるよう励ましたり見守ったりしている。 A : 17.4 B : 66.6 C : 15.6 D : 0.4	児童の学力向上のため、進んで校内や校外の研修に参加している。 A : 22.9 B : 60.0 C : 17.1 D : 0
	自分で計画を立てて家庭学習（予習・復習・宿題）を行っている。 A : 51.9 B : 35.8 C : 10.4 D : 1.9	子どもに、自分で計画を立てて家庭学習を行うよう働きかけている。 A : 17.4 B : 52.7 C : 28.5 D : 1.5	児童が計画的に家庭学習を進められるよう指導している。 A : 17.1 B : 74.3 C : 8.6 D : 0
	進んで、読書をしている。 A : 53.0 B : 31.6 C : 11.9 D : 3.5	子どもに、家庭でも読書をするようにすすめている。 A : 22.9 B : 39.3 C : 31.7 D : 6.1	児童に、マイバッグの活用など読書活動の推進に向けて取り組んでいる。 A : 22.9 B : 65.7 C : 11.4 D : 0
	人の話を、最後まで聞いている。 A : 53.4 B : 39.9 C : 6.3 D : 0.4	子どもに、人の話を最後まで聞くよう働きかけている。 A : 19.1 B : 65.7 C : 14.8 D : 0.4	児童に、話を聞くことの大切さや聞き方について具体的に示して指導している。 A : 48.6 B : 51.4 C : 0 D : 0
	授業中、自分の考えを、進んで話せる。 A : 37.0 B : 35.5 C : 24.0 D : 3.5	子どもに、授業中、自分の考えを進んで話せるよう励ましている。 A : 15.4 B : 49.8 C : 31.9 D : 2.8	児童に、自分の考えを話すことの大切さや、ハンドサインを活用した話し方について、具体的に指導している。 A : 42.9 B : 54.3 C : 2.9 D : 0
	家庭で、次の日の学習の準備をしている。 A : 76.5 B : 17.8 C : 4.2 D : 1.5	子どもに、次の日の学習の準備をするよう働きかけている。 A : 30.9 B : 53.8 C : 13.0 D : 2.4	児童に、学習の準備をする大切さを指導している。 A : 42.9 B : 57.1 C : 0 D : 0
豊かな心	学校に来るのが楽しい。 A : 69.9 B : 21.8 C : 5.9 D : 2.4	子どもは、楽しく学校に通っている。 A : 65.8 B : 29.4 C : 4.5 D : 0.3	全ての児童が、学校で楽しく過ごせるよう居場所づくりをしている。 A : 28.6 B : 68.6 C : 2.9 D : 0
	進んであいさつをしている。 A : 64.3 B : 29.5 C : 5.3 D : 0.9	子どもに、友達や地域の人に進んで挨拶するよう家庭でも挨拶している。 A : 36.2 B : 53.6 C : 9.8 D : 0.4	自ら児童に働きかけ、進んで挨拶できるように、教職員自ら挨拶している。 A : 51.4 B : 48.6 C : 0 D : 0
	ていねいな言葉遣いをしている。 A : 44.5 B : 45.8 C : 8.3 D : 1.4	子どもが、丁寧な言葉遣いをするよう家庭でも意識して話している。 A : 18.0 B : 58.7 C : 22.5 D : 0.8	児童の手本となるような正しく丁寧な言葉遣いや態度をしている。 A : 17.1 B : 71.4 C : 8.6 D : 2.9
	友達を大切にし、仲良くしている。 A : 79.3 B : 19.5 C : 1.1 D : 0.1	子どもに、友達を大切にし、仲良くするよう働きかけている。 A : 41.6 B : 54.6 C : 3.7 D : 0.1	児童が友達を大切にし、仲良く過ごせるよう学級経営や指導を工夫している。 A : 37.1 B : 62.9 C : 0 D : 0
	友達のがんばりをみとめ、はげまし、助け合っている。 A : 64.1 B : 31.0 C : 4.6 D : 0.3	子どもに、友達のがんばりを認め、励まし、助け合えるよう働きかけている。 A : 28.6 B : 60.5 C : 10.2 D : 0.7	児童が互いに認め、励まし、助け合えるよう学級経営や指導を工夫している。 A : 37.1 B : 62.9 C : 0 D : 0
	学校やクラスのルール、約束事の大切さを理解し、守っている。 A : 60.3 B : 34.1 C : 5.1 D : 0.5	子どもに、社会や学校、クラスのルール・約束事を守るよう働きかけている。 A : 37.6 B : 59.1 C : 3.2 D : 0.1	児童に、学校やクラスのルール・約束事の大切さについて指導し、守れるように常に働きかけている。 A : 54.3 B : 45.7 C : 0 D : 0
	学校であったことを、家庭で話している。 A : 58.0 B : 27.1 C : 9.3 D : 5.6	子どもが、学校であったことを家庭で話せる雰囲気づくりを大切にしている。 A : 35.0 B : 55.5 C : 9.0 D : 0.5	児童に寄り添い、困ったことがあれば、何でも相談できる関係をつくっている。 A : 31.4 B : 68.6 C : 0 D : 0

	児童	保護者	教職員
健やかな体	早ね・早起き・朝ごはんなどの生活習慣が身についている。 A : 47.0 B : 37.7 C : 12.9 D : 2.4	子どもに、早ね・早起き・朝ごはんなどの生活習慣が身につくよう、家庭で取り組んでいる。 A : 34.7 B : 48.2 C : 16.3 D : 0.8	児童に、早ね・早起き・朝ごはんなどの生活習慣が身につくよう、家庭と連携し働きかけている。 A : 20.6 B : 67.6 C : 11.8 D : 0
	外遊びなどで、よく体を動かしている。 A : 59.6 B : 24.8 C : 13.2 D : 2.4	子どもに、外遊びなどでよく体を動かすよう働きかけている。 A : 28.3 B : 44.1 C : 26.5 D : 1.1	児童に外遊びなどで体を動かすよう働きかけている。 A : 26.5 B : 58.8 C : 14.7 D : 0
	好ききらいなく、給食を食べている。 A : 61.2 B : 28.6 C : 7.5 D : 2.7	子どもに、好き嫌いなく食べるよう働きかけている。 A : 35.1 B : 51.0 C : 13.4 D : 0.5	児童に、給食を好き嫌いなく食べるよう指導している。 A : 50.0 B : 47.1 C : 2.9 D : 0
	自分のことは、自分でしている。 A : 64.3 B : 31.4 C : 3.7 D : 0.6	子どもに、自分のことは自分でできるよう教えたり、見守ったりしている。 A : 30.9 B : 60.4 C : 8.5 D : 0.3	児童に、生きる力を育てることを目指し、自分のことは自分でできるよう指導している。 A : 44.1 B : 55.9 C : 0 D : 0
	登下校時や帰宅後も安全に気をつけている。 A : 76.3 B : 19.8 C : 3.0 D : 0.9	子どもが、登下校時や帰宅後も安全に気をつけているか見守ったり、声をかけたりしている。 A : 35.1 B : 55.2 C : 9.0 D : 0.7	児童に、登下校時や帰宅後も安全に気をつけるなど、安全指導を行っている。 A : 47.1 B : 50.0 C : 2.9 D : 0

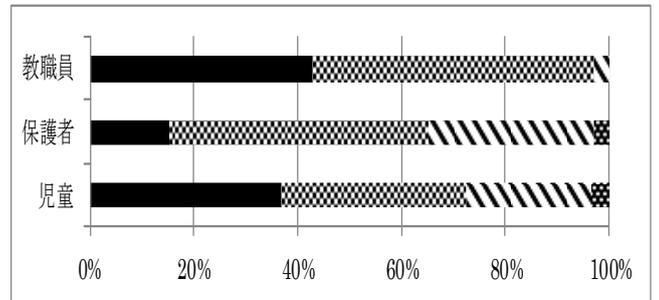
### 【集計結果の考察】

そう思う
  だいたいそう思う
  あまりそう思わない
  そう思わない

### 一確かな学力について一

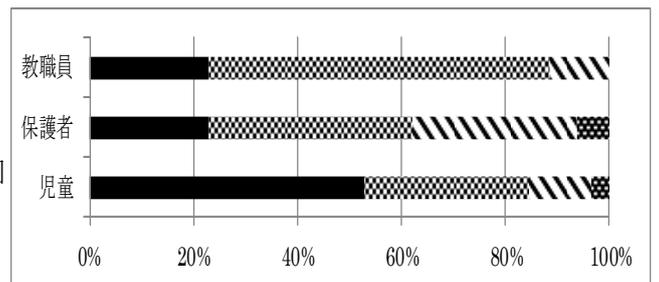
#### ☆授業中、自分の考えを、進んで話せる。

「授業中、自分の考えを、進んで話せること」に関しての項目を今年度重点的に取り組む項目としてあげ、授業を通して、子どもたちが主体的に考えを出し合い、他者を意識して互いに考えを深めたり振り返って判断したりしていくための学習集団をつくるよう意識して取り組んできました。結果からみてもまだまだ課題があると感じています。取組の成果が出るには時間がかかるのかもしれませんが、今年度の取組を振り返り、みなみっ子のめあてにもある「人の話をしっかり聞きよく考えよう」「自分の考えや思いをわかりやすく伝えよう」を意識して引き続き取り組んでいきます。さらに、何でも話せる・間違いが許される学級の雰囲気や友達との人間関係がとても大切と考えます。失敗や間違ふことはマイナスではなく、次につながるチャンスであることを授業や学校行事を通して学んでいけるよう支援していきます。



#### ☆進んで読書をしている。

「進んで読書をしている」に関しての項目は、本校の毎年の課題ですが、今年度前期と比べて後期はポイントが上がっています。これは、朝読書を毎日続けていることや国語科の学習における並行読書、PTA活動の「本を楽しむ会」の実施、岩倉図書館との連携、ビブリオバトル（お勧めの本を持ち寄り紹介しよう）など様々な取組の表れだと考えます。読書は、語彙力や言語能力の発達、ストレス解消、想像力・感受性が豊かになる、集中力がつくなど子どもたちの成長にとってとても大切な要素を含んでおり、学力向上だけでなく豊かな心を育むことにも役立っています。学校では、毎朝10分間読書をすることで無理なく習慣化を図っています。また、本の紹介（ビブリオバトル）や並行読書を通して、自分の興味とは違ったジャンルの本に触れる機会も増え、さらに読書の幅が広がっていくことも期待しています。ご家庭でも、身近に本を置いて読書ができる環境づくりにご協力お願いいたします。



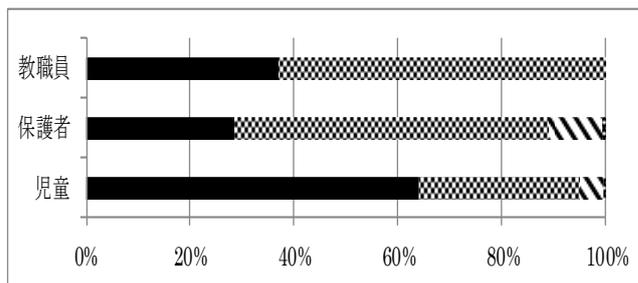
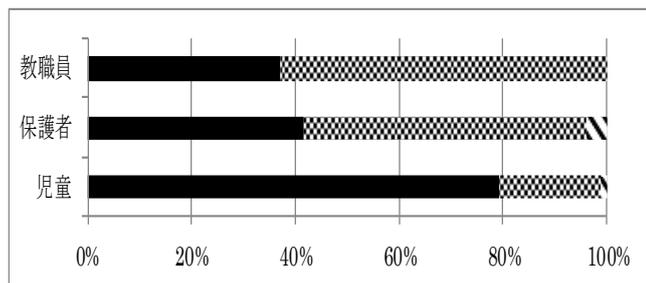
### 一豊かな心について一

子どもたちは、学習や学校行事などいろいろな活動を通して、友達の輪を広げ、友達と一緒に成長していています。自分だけでは解決できないことも友達と考えることで解決したり考えの幅が広がったりします。また、同じ目標に向かって一緒に努力し成し遂げることで、充実感や達成感を味わうことができます。そして、この積み重ねが心を豊かにし困難にも立ち向かっていける強い心を育てます。子どもたちは、友達とのかかわりの中で人を大切にする術や慈しむ心を育てていくのです。友達のがんばりを認めることができる子どもたちは、素晴らしいですね。今後も、授業はもちろん学級活動や学校行事等を通して豊かな心を育む支援を行っていきたいと思います。

また、道徳教育を充実させることにも引き続き取り組んでいきます。価値の押し付けをするのではなく、自分ならどう考えるか、どう行動するかをいろいろな教材を通して子どもたちの内面に問いかけていきます。そして、生きて働く力となるようにしていきたいと思ひます。ご家庭でも、子どもたちのがんばる姿を見守っていただき、子どもたちが努力を続けられるようお声かけをお願いいたします。

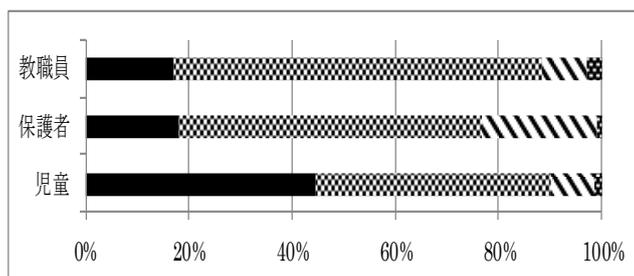
☆**友達を大切にし、仲良くしている。**

☆**友達のがんばりを認め、はげまし、助け合っている。**



☆**ていねいな言葉遣いをしている。**

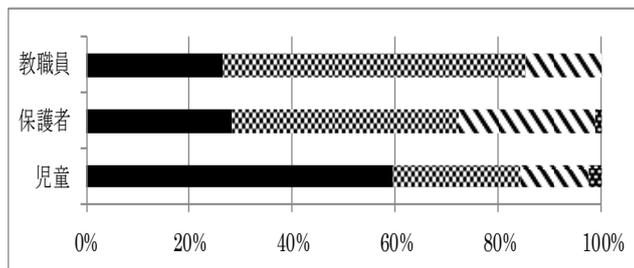
前期と同様、約90%の児童がていねいな言葉遣いをしていると答えています。大人はどうでしょうか。教職員は、子どもとの関係が深まる中で、日々の言動への意識が薄れていたことにこの結果から気づかされました。また、保護者アンケートの記述欄にも大人の言葉遣いへのご意見が寄せられていました。今年度を振り返り、再度全教職員で意識して取り組んでまいりたいと思ひます。子どもの人権意識は、周りのなにげない会話や態度に影響され、知らず知らずのうちに子どもに刷り込まれ形成されていきます。だからこそ、周りの大人がていねいな言葉を遣うことが大切です。日々の心温まる出来事や人権教育などを通して子どもの人権意識を大切に育てていきたいです。



一**健やかな体**

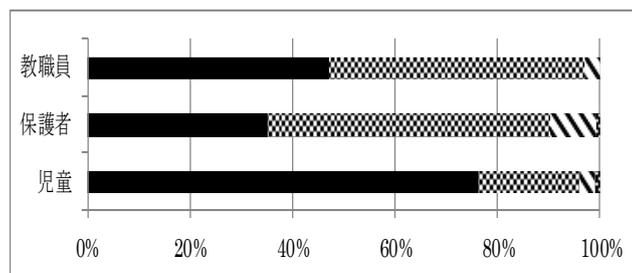
☆**外遊びなどで、よく体を動かしている。**

「外遊びで体を動かすこと」については、児童も教職員も前期より実現度が上がりました。今年度、水曜日の昼休みをロング昼休みにしたり、中間休みに体育館を開放したりするなどして、遊びの時間と場の設定をしたことや京都市教育委員会から指定を受けている「ジャンプアップ研究推進事業」も活用しながら、遊び道具も充実させたことで体を動かす機会が増えました。子どもたちが、体育科の学習はもちろんのこと、みんな遊びや縦割り活動を通して体を動かすことの楽しさを体感できるようになりました。このよい習慣がこれから継続できるよう環境を整えていきます。また、いろいろな遊びを通して神経回路に刺激を与え、身のこなし（動作の習得）や粘り強さなど小学生の時期に培われる力を育てていきたいと思ひます。



☆**登下校や帰宅後も安全に気をつけている。**

登校中は、地域やPTAの立ち番ボランティアの方々に見守られています。学校では、日々安全指導を実施しており、安全ノートを活用しながら自転車の乗り方や防犯、災害時の対応など学習をしています。避難訓練は地震・不審者・火災など設定し年に数回実施しています。今年度は起震車体験も行いました。避難訓練を積み重ねることで、集団で避難することもスムーズに行えるようになってきました。また、「おはしもて」の合言葉もしっかり身につけてきました。放送をしっかり聞く、地震警報が鳴ったら机の下などに入り頭を守る、火災の場合はハンカチを口や鼻にあてるなど、いざというとき対応できるようこれからも避難訓練やシェイクアウト訓練などの機会を通して実践を積み重ねていきたいと思ひます。おうちでもいろいろな場合を想定して、避難方法や場所、連絡方法などを話し合ってみてください。



■学校評価委員会の皆様のご意見（紙面の都合上、ご意見の一部でありますことをご了承ください。）

- ・安全については、学校の周りがゾーン30になってから、事故がないのは素晴らしいことで、誇りに思っています。地域の取組と学校の取組が調和していると感じています。
- ・点滅信号の暗きょ化工事によって、通学路が確保されたのがよかったです。暗きょ化された約50メートルの道を通る間に、子どもたちが道に広がることなく安全に通学することができて大変役に立っています。
- ・岩倉南学区が子どもたちにとって安全基地になってくれたらと思います。そのことを感じるのは、大人になってからだと思います。
- ・避難訓練時の「おはしもて」の合言葉の意味はなんですか。  
⇒おさない、走らない、しゃべらない、もどらない、低学年優先の頭文字です。
- ・保護者欄でC・Dと答えている保護者も多いですが、正直に答えていると思います。「学校に来るのが楽しい」と答えている子ども・保護者が多くいます。学校で教職員が見守ってくれている、地域の方が見守ってくれている安心感があるのではないのでしょうか。「友だちと仲良くしている」の項目の数値が前期より上がっているのは、学校生活が充実しているからだと思います。学校は、社会性を育む場所と考えているので、この結果はうれしいです。
- ・ものをたいせつにしない傾向があるように思います。それは社会そのものがそういう傾向であると感じています。
- ・朝、挨拶をすると中学生になってもちゃんと返ってきます。それは、立ち番ボランティアのおかげだと思います。

